

## 5 校時～5年生～「夢」について

「夢は大きい方がいい？小さい方がいいか？」まずは自分の考えをしっかりと書く。その考えを友だちと交流。いろんなグループで意見をかわし合えるクラス。拍手が自然に出るクラス。参加者に夢について話をふりながら、さりげなくヒントをつぶやく所長。鉛筆が進まない子にも自信を持たせていく。繰り返し語りかけられる「間違いはないよ」の言葉。夢を持つべきだ」の押し付けではなく自分の考えを自由に出し合える授業。どうしても言いたい、と自分の考えを立てて堂々と言える子らの姿がありました。



思わず拍手が出る子たち。それを見逃さない所長。すかさずそれを取り上げみんなに広げる。



チャイムがなっても鉛筆を持つ手がとまらない。教師が書かせるのではなく書きたい気持ちにあふれている子どもたち



時間の限りいろいろな組み合わせになってグループで対話



## 2. 授業後の講義に学ぶ

### 講義

3 時間授業のあとには、所長の講義。長丁場にもかかわらず所長のパワーに脱帽。小野指導主事による授業の振り返りもあり授業の見方を学びました。

講義の後半はほめ言葉トランプ。(私もほめていただいて思わず目が潤みました。いくつになっても嬉しいものです) 参加者全員でほめられることを体感。「花さき山」やいいこと見つけの活動の意味を再確認できたのでは。学校にトランプを5セットいただきました。活用していきましょう。

講義後の謝辞は若手の先生方全員から感想を兼ねた感謝の言葉を述べてもらいました。



小野指導主事による授業の振り返り。他の人の授業や子どもを見るポイントを伝授。

「2-6-2の法則」後ろの2に目がいきがち。前の2に目を向けよう。



最後に全員が感想・謝辞を述べました。

